

平成19年度(2007年度)歳入歳出収支決算書

歳 入

(単位:千円)

款	項	目	節	金額	備考
1 市 税	1 市 民 税	1 個 人	1 現年度課税分	440	
15 県支出金	2 県補助金	7 教育費補助金	2 社会教育費補助金	438	子どもを支える人権のまちづくり促進事業補助金
合 計				878	

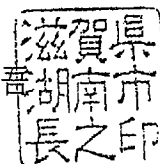
歳 出

款	項	目	節	金額	備考
10 教育費	5 社会教育費	6 人権教育振興費	8 報 償 費	294	
			11 需 用 費	9	
		[REDACTED]	8 報 償 費	178	
			11 需 用 費	139	
			12 役 務 費	3	
			14 使用料及び賃借料	255	
合 計				878	

上記のとおり平成19年度(2007年度)決算書抄本であることを証明します。

平成20年(2008年)3月31日

湖南市長 谷畑 英



事業実施計算書

市町村名 湖南省 ()

区分	費目	金額	積算の基礎
補助対象経費	報償費	45,000	円 通訳者謝礼 (@1,500×2H)×6回×2人(ポルトガル語1人、 スペイン語 1人) (@1,500×2H)×1回×1人(スペイン語 1人) 講師謝礼 (@1,500×2H)×2回×1人
	旅費		
	消耗品費	2,000	教材費等
	印刷製本費		
	通信運搬費		
	保険料		
	雑役務費		
合計	(A)	47,000	
		[補助金額 (A)×1/2]	23 千円

注) 「積算の基礎」欄は可能な限り会議・説明会等の事業区分毎に単価や員数等を用いた計算式を記載すること。なお、実施施設数が複数の場合は、実施施設毎に作成し、費目毎の合計額を本様式に計上した総括表を作成すること。

平成19年度子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名 

管内区域 

- ①外国籍の児童生徒が多く特別な配慮を必要とする管内の現状の変化
(保護者や児童生徒の生活面・学習面等からみた管内の状況の変化)




- ②取り組みの成果

夏休みを利用して6日間の学習支援を行った。のべ44名の子どもたちの参加があり、夏休みの課題を中心としたカリキュラムにたいへん熱心に取り組んだ。学校の教員や、ポルトガル語スペイン語の通訳の人の協力を得て、保護者の相談にも対応することができ、たいへん意味のある取り組みであった。

- ③今後の方針等
(上記①および②をふまえ、事業実施後の課題や改善点など)

学校だけでは対応しきれていないので、このような形で学校との連携の中で、子どもの学習支援と保護者の相談を行うことは必要である。

事業の内容

名 称	子育て支援事業		
対 象	中南米地域出身の子どもと保護者		
内 容 (テーマ)	夏休みの課題の学習支援 日本語指導 文化交流		
参加者 (うち児童生徒数)	50 人 (44)人		
実施場所			
開催期間	平成 19 年 8 月 6 日 ~ 平成 19 年 8 月 30 日		
開催時間	12 時間		
事業実施 による 成 果	子どもたちは、普段日本語中心の学校ではなかなか理解できなかった学習内容も、通訳の人の支援により理解しやすそうだった。保護者も喜んで送り迎えをされていた。		

※ 1市町村において複数の施設で実施する場合は施設毎に作成のこと
※ 事業実施計算書【は別紙共通様式により提出すること

事業実施計算書

市町村名 湖南省 ()

区分	費目	金額	積算の基礎
補助対象経費	報償費	124,000	通訳者謝礼 (@2,000×2日)×31回×1人(中国語1人)
	旅費		
	消耗品費	2,000	
	印刷製本費		
	通信運搬費		
	保険料		
	雑役務費		
	使用料及び 賃借料		
合計 (A)		126,000	
		[補助金額 (A)×1/2]	[63 千円]

注) 「積算の基礎」欄は可能な限り会議・説明会等の事業区分毎に単価や員数等を用いた計算式を記載すること。なお、実施施設数が複数の場合は、実施施設毎に作成し、費目毎の合計額を本様式に計上した総括表を作成すること。

平成19年度子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名 [REDACTED]

管内区域 [REDACTED]

- ①困難を抱える児童生徒が多く特別な配慮を必要とする管内の現状の変化
(保護者や児童生徒の生活面・学習面等からみた管内の状況の変化)

[REDACTED]

- ②取り組みの成果

中国籍の通訳の協力を得ることができたため、母語を基本とした日本語指導ならびに学習支援ができた。まったく日本語が分からなかった子どもが、定期的の実施することにより、日本語を聞いて理解することが短期間でできるようになった。
また、外国籍の子どもたちの中でもマイノリティな中国籍の子どもや保護者にとって、安心して中国語で相談することができる場となり、子どもたちの進学や就労について支援することもできた。
ただ、中学生の1名はほとんど参加できず、積み上げた学習成果が得られなかった。本人や母との進路に向けた話は、通訳さんを交えて行うことができた。

- ③今後の方針等
(上記①および②をふまえ、事業実施後の課題や改善点など)

一定、成果があがり、かなり日本語理解もすすんできたので、他の外国籍の子どもたちと同じような形で、夏休みや日常生活の中で支援していきたい。

事業の内容

名称	[REDACTED] 子育て支援事業		
対象	中国出身の子どもと保護者		
内容 (テーマ)	課題の学習支援 日本語指導(中国教育省 作成のテキストを利用) テスト勉強 文化交流		
参加者 (うち児童 生徒数)	平均 2 人 (1) 人	人 () 人	人 () 人
実施場所	[REDACTED]		
開催期間	平成19年 4月11日 平成20年 3月26日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 年 月 日 平成 年 月 日
開催時間	66時間	時間	時間
事業実施 による 成果	小学生の一人は、日本語理解がかなり進み、日常のコミュニケーションは無理なくとれるようになってきた。学力的にもかなり身につけてきており、中学校進学に向けての準備はできてきている。中学生の一人は、ほとんど参加ができなかったが、会話はかなりできており、本人の思いを聴くことができた。両名とも進路に向けて保護者を交えて話をし、保護者の思いも聴くことができた。		

※ 1市町村において複数の施設で実施する場合は施設毎に作成のこと
※ 事業実施計算書は別紙共通様式により提出すること

事業実施計算書

市町村名 湖南省 ()

区分	費目	金額	積算の基礎
補助対象経費	報償費	125,000	子育て支援事業 夏 通訳者謝礼 (@1,500×2H)×5回×2人=30,000 (ポルトガル語1人、中国語 1人) (@3,500×2H)×1回×2人=14,000 (スペイン語 2人) 講師謝礼 (@1,500×2H)×4回×1人=12,000 (@1,500×2H)×2回×2人=12,000 (@1,500×2H)×3回×3人=27,000 秋以降 通訳者謝礼 (@1,500×2H)×3回×1人=9,000 (ポルトガル語1人) (@1,500×3H)×3×1人= 13,500 (ポルトガル語1人) (@1,500×2H)×1回×1人= 3,000 (スペイン語 1人) (@1,500×1H)×1回×1人= 1,500 (中国語 1人) (@1,500×2H)×1回×1人= 3,000 (中国語 1人)
	消耗品費	5,000	交流事業等消耗品代
	印刷製本費		
	雑役務費		
	使用料及び賃借料		
合計	(A)	130,000	
		[補助金額 (A)×1/2]	[65 千円]

注) 「積算の基礎」欄は可能な限り会議・説明会等の事業区分毎に単価や員数等を用いた計算式を記載すること。なお、実施施設数が複数の場合は、実施施設毎に作成し、費目毎の合計額を本様式に計上した総括表を作成すること。

平成19年度子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名 XXXXXXXXXX

管内区域 XXXXXXXXXX

① 困難を抱える児童生徒が多く特別な配慮を必要とする管内の現状の変化
(保護者や児童生徒の生活面・学習面等からみた管内の状況の変化)

② 取り組みの成果

短期間であったため、日本語修得に十分効果があったとは言えない部分もあるが、担任の先生方がふだん個々児童にゆっくり接する時間がとれないので、貴重な時間となった。夏休みの課題はかなり進んだ児童もいた。

また、来日したばかりで、不安な状況にあった保護者に対して、通訳さんを通して、学校などのシステムも話することができた。

また、生涯学習のボランティアの XXXXXXXXXX の方にお願ひし、遊びを通しての交流の時間をとることができ、子どもたちにとっては有意義な時間となった。

③ 今後の方針等

(上記①および②をふまえ、事業実施後の課題や改善点など)

初期の日本語指導は日本語指導教室 XXXXXXXXXX が開校され、一定の成果をあげていただいているので、学習支援を重点とした対応を実施していくことが必要である。特に中学生は、卒業後の進路決定に向けた取り組みの支援として位置づけていきたい。

また、日常の中で保護者との連携も大変重要になってくるので、通訳を交えての意志の疎通をはかれるようなシステム作りをしていく必要がある。子どもや保護者の話を聴ける場づくりをしていきたい。

事業の内容

名 称	XXXXXXXXXX 子育て支援事業	XXXXXXXXXX 子育て支援事業	
対 象	中南米および中国出身の子どもと保護者	中南米および中国出身の子どもと保護者	
内 容 (テーマ)	・夏休み課題の学習支援 ・日本語指導 (ひらがな交流) ・遊びの交流	・日常生活や学習、進路など保護者や子どもたちとの交流や説明、指導助言	
参加者 (うち児童生徒数)	平均 38 人 (26) 人	個別に対応 延べ30 人 (15) 人	人 () 人
実施場所	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX 他	
開催期間	平成19年 7月26日 平成19年 8月28日	平成19年 10月9日 平成20年 2月14日	平成 年 月 日 平成 年 月 日
開催時間	10 時間	30 時間	時間
事業実施による成果	日本語指導の先生や担任の先生のはたらきかけで、外国籍の子どもたちにも保護者にも本事業の内容や目的を知ってもらい、たくさんの参加を得られ、指導に来ていただいた先生方からも子どもたちとの時間がとれたことを大変有意義に感じていただいた。また、活動を通して、学年のちがひ、小学校のちがひ、小中のちがひなどある中で交流することもできた。保護者の不安も通訳さんをまじえての話の中でかなり解消できる場とすることができた。		

※ 1市町村において複数の施設で実施する場合は施設毎に作成のこと
※ 事業実施計算書は別紙共通様式により提出すること

事業実施計算書

市町村名 湖南省

区分	費用	金額	積算の基礎
補助対象経費	報償費	32,000	子育て支援学級保護者研修謝礼 5,000×2人×2回 20,000 子育て支援学級親子連続講座 3,000×4人 12,000
	旅費 消耗品費	63,783	子育て支援学級親子連続講座材料費 竹尺 2本 1,638 定規・三角定規・分度器 各5個 2,880 コンパス替芯 2個 147 参考図書(工作・実験)8冊 7,182 布書きクレヨン 5セット 3,654 クッキングシート 3個×@280 840 キッチンタオル 2個×@213 426 ペーパープレート 5パック×@105 520 サラダ油 1本 241 クリップボード 5枚×399 1,995 色鉛筆24色 2個×@1,092 2,184 アルミホイル・サランラップ 各2個 1,587 模造紙 10枚×@13 130 白ボール全紙 10枚×@64 640 一穴パンチ 5個×@472 2,360 マジックインキ 12色セット 5×@1,512 7,560 プラスチックファイル 10枚セット 1,417 ラベルシート 4冊 1,511 軍手 1ダース 296 ジッパー袋・竹串 517 コピー用紙A4 1,392 ホワイトボードマーカー 10本×@50 500 フラットファイル 10冊入り 400 プリンターインカートリッジ黒 2箱 3,858 プリンターインカートリッジカラー 2箱 3,558 鉛筆・赤鉛筆・青鉛筆 各3ダース 3,159 方眼模造紙 10枚口 320 色方眼模造紙(4色) 10枚口×4×@370 1,480 水性ボールペン赤・黒 各10本 1,018 ぞうきん(5枚入り) 236 フリーザパック・割り箸・サラダ油 724 オーグラーのり 12本×@78 936 テプラテープ12mm 3個×815 2,445 工作用バンド 12本 1,894 各種折り紙 4,138
	印刷製本費	3,528	子育て支援学級親子連続講座写真代
	保険料		
	通信運搬費		
	保険料		
	雑役務費		
	使用料及び賃借料	46,000	子育て支援学級親子連続講座 音響機器(映画会用)賃借料 46,000
	合計 (A)	145,311	

【補助金額 (A)×1/2】 【72千円】 /

注)「積算の基礎」欄は可能な限り会議・説明会等の事業区分毎に単価や員数等を用いた計算式を記載すること。なお、実施施設数が複数の場合は、実施施設毎に作成し、費用毎の合計額を本様式に計上した総括表を作成すること。

平成19年度子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名 XXXXXXXXXX

管内区域 XXXXXXXXXX

①困難を抱える児童生徒が多く特別な配慮を必要とする管内の現状の変化
(保護者や児童生徒の生活面・学習面等からみた管内の状況の変化)

②取り組みの成果

小中学生の子育て支援による学級や各種の事業の実施により、親子の絆が深まると共に、子ども同士また保護者同士の交流・ふれあいができた。

③今後の方針等

(上記①および②をふまえ、事業実施後の課題や改善点など)

引き続き学級や各種事業を実施し、親子および保護者・子ども同士の交流、ふれあいが深まるよう進めるとともに、地域や学校・園と協力し困難を抱える児童生徒の把握、支援をすすめる。

事業の内容

名 称	子育て支援学級保護者研修		子育て支援学級親子連続講座
対 象	子育て支援学級保護者		児童、生徒及び保護者
内 容 (テーマ)	部落差別問題をはじめ様々な人権学習の実施、取り組みの強化および、子育て支援の必要性等を共通理解しながら共に歩んでいくために学習する。		支援学級に参加している子どもと保護者が学習・ゲーム等を通し、ふれあいを深める。
参加者 (うち児童 生徒数)	28 人 ()人	人 ()人	延べ 68 人 (延べ 12)人
実施場所	XXXXXXXXXX		XXXXXXXXXX
開催期間	平成 19 年 5 月 9 日 平成 20 年 3 月 30 日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 19 年 5 月 9 日 平成 20 年 3 月 30 日
開催時間	6 時間	時間	12 時間
事業実施 による 成 果	人権問題に関心を持つと同時に、子育て支援学級の意義や必要性を学習し、また、保護者の想いを聞くことができた。		親子で学習・ゲーム等を行うことにより、子育てに関心を持ち親子のふれあいを深められた。

※ 1市町村において複数の施設で実施する場合は施設毎に作成のこと

※ 事業実施計算書は別紙共通様式により提出すること

事業実施計算書

市町 XXXXXXXXXX

区分	費目	金額	積算の基礎	
補助対象経費	報償費	89,600	<div style="background-color: black; width: 100px; height: 1em; display: inline-block;"></div> 講師謝礼 3,200円/h×2h×12回 25800 3,200円/h×2h×2回(離乳食講習) 12800	
	旅費			
	消耗品費	13,560	離乳食講習材料費(2回分) = 1,941円 おもちゃ 3種類 = 7,665円 えほん 5冊 = 3,954円	
	印刷製本費			
	通信運搬費			
	保険料			
	雑役務費			
	使用料及び 賃借料			
	合計 (A)		103,160	
			[補助金額 (A)×1/2]	[51千円]

注) 「積算の基礎」欄は可能な限り会議・説明会等の事業区分毎に単価や員数等を用いた計算式を記載すること。なお、実施施設数が複数の場合は、実施施設毎に作成し、費目毎の合計額を本様式に計上した総括表を作成すること。

平成19年度子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名 [REDACTED]

管内区域 [REDACTED]

- ①困難を抱える児童生徒が多く特別な配慮を必要とする管内の現状の変化
(保護者や児童生徒の生活面・学習面等からみた管内の状況の変化)

[REDACTED]

②取り組みの成果

今年度は前期・後期の2回に分けて参加者を募集して開催した。「わらべうた」を親子に読み聞かせるだけでなく、離乳食講習を含む子育てのノウハウを習得することができた。また、個々が抱えている子育てに対する不安や悩みを語り合うことにより、不安や悩みが少しは解消できた。

③今後の方針等

(上記①および②をふまえ、事業実施後の課題や改善点など)

「親が育てば子が育つ」の道理で、子どもを育てるには親の教育が必要になってくる。このような事業に参加されている親は、子育てについて正面から真剣に取り組もうとする意欲が感じられるが、一方で世の中には育児放棄をしている親もいるので、そのような親を如何に呼び込むかが課題である。

事業の内容

名 称	子育て支援事業 [REDACTED]		
対 象	0・1歳児とのスキンシップ		
内 容 (テーマ)	核家族化が進行し、0・1歳児との接し方に不安を抱える親の子育て支援		
参加者 (うち児童 生徒数)	28 人 (14)人	人 ()人	人 ()人
実施場所	[REDACTED]		
開催期間	平成19年 4月18日 平成20年 3月26日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 年 月 日 平成 年 月 日
開催時間	1回2時間 延べ24時間	時間	時間
事業実施 による 成 果	子育てに対する悩みや不安の解消と参加者の交流促進ができた。		

※ 1市町村において複数の施設で実施する場合は施設毎に作成のこと
※ 事業実施計算書は別紙共通様式により提出すること

事業実施計算書

市町村名 湖南省 ()

区分	費目	金額	積算の基礎
補助対象経費	報償費	25,600	保護者会学習会 講師謝礼 @3,200×4H×2人=25,600
	旅費		
	消耗品費	57,330	模造紙 6,930 画用紙 6,300 ポスカ太字 44,100
	保険料	2,955	交流事業及び小学生集会参加者保険料
	使用料及び賃借料	20,000	ビデオレンタル料 2本
合計 (A)		105,885	
		[補助金額 (A)×1/2]	[52 千円]

注) 「積算の基礎」欄は可能な限り会議・説明会等の事業区分毎に単価や員数等を用いた計算式を記載すること。なお、実施施設数が複数の場合は、実施施設毎に作成し、費目毎の合計額を本様式に計上した総括表を作成すること。

平成19年度子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名 XXXXXXXXXX

管内区域 XXXXXXXXXX

① 困難を抱える児童生徒が多く特別な配慮を必要とする管内の現状の変化
(保護者や児童生徒の生活面・学習面等からみた管内の状況の変化)

[Redacted Content]

② 取り組みの成果

保護者も子どもといっしょになって、レクリエーションや学習会、講演に参加したため、育成への理解を深めることができた。

③ 今後の方針等

(上記①および②をふまえ、事業実施後の課題や改善点など)

参加者数をアップさせるために、地域住民による企画、運営をしてもらい、幅広くこの事業に参加してもらうよう呼びかけていく。

事業の内容

名 称	子育て支援研究会		
対 象	市民 (XXXXXXXXXX)		
内 容 (テーマ)	子育ての仕方や方法について		
参加者 (うち児童 生徒数)	160人 (53)人	人 ()人	人 ()人
実施場所	XXXXXXXXXX		
開催期間	平成19年 4月 1日 平成20年 3月31日	平成 年 月 日 平成 年 月 日	平成 年 月 日 平成 年 月 日
開催時間	12時間	時間	時間
事業実施 による 成 果	地域住民が学校に楽しく行けない子ども(生徒)に対する理解を深め、地域で子どもを見守り支える活動を推進した。子育てに悩む親の居場所作りを提供した。		

※ 1市町村において複数の施設で実施する場合は施設毎に作成のこと
※ 事業実施計算書は別紙共通様式により提出すること

事業実施計算書

市町村名 湖 南 市 ()

区分	費目	金額 円	積算の基礎
補助対象経費	報償費	30,000	講師謝礼 事業① 30,000円×1回= 30,000円
			小計 30,000円
	旅費	0	
	消耗品費	0	
	通信運搬費	0	
	使用料および賃借料	188,900	事業② バス借り上げ料 174,000円 事業③ 施設入場料 14,900円
合計	(A)	218,900	【補助金額 (A)×1/】 【 109,450 円】

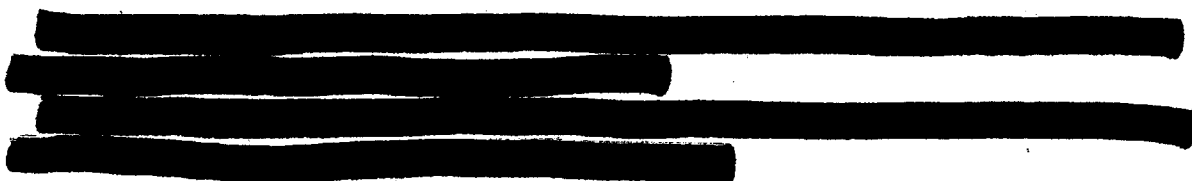
注) 「積算の基礎」欄は可能な限り会議・説明会等の事業区分毎に単価や員数等を用いた計算式を記載すること。

平成19年度 子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名
管内区域



①困難を抱える児童生徒が多く特別な配慮を必要とする管内の現状の変更
(保護者や児童生徒の生活面・学習面等からみた管内の状況の変化)



②取り組みの成果

研修会に参加された保護者が、子どもと一緒に人権問題について考えることができた。

③今後の方針等

(上記①および②をふまえ、本事業を計画こととした理由や改善点)

大きな改善はないが、保護者と子どもの交流を中心に今までの取り組みを継承しながら、事業を実施していきたい。

名称	①子育て支援学級 保護者研修	②子育て支援学級 保護者先進地研修	③子育て支援学級 スケート講習
対象	子育て支援学級保護者	児童・生徒および保護者	児童・生徒および保護者
内容 (テーマ)	部落差別問題をはじめ、さまざまな人権問題を学習し、保護者会の今後の取り組みの充実を図る。	支援学級に参加している子どもと保護者が先進地を視察し共に学習し教養を深める。	支援学級に参加している子どもと保護者がスポーツをとおして親子のふれあいを深める。
参加者 (うち児童生徒数)	13人 ()人	14人 (4人)	19人 (10人)
実施場所		長野県	滋賀県立アイスアリーナ
開催期間	平成19年4月	平成19年8月	平成20年3月
開催時間	2時間	8時間	6時間
事業実施による 成果	今まで以上に、人権問題に関心を持ち人権感覚を見つめ直し、保護者会活動に役立つようになった。	一つのことを親子で学習することにより、共通の話題ができ親子のふれあいを深めることができた。	親子でスポーツ学習することにより、子どもに関心を持つことの学習ができた。

※ 1市町村において複数の施設で実施する場合は施設ごとに作成のこと。

※ 事業実施計算書は別紙共通様式により提出すること。

事業実施計算書

市町村名 湖南省

区分	費目	金額	積算の基礎	
		円		円
補助対象経費	報償費	471,200	[Redacted]	30,000
			[Redacted]	25,600
			[Redacted]	89,600
			[Redacted]	32,000
			[Redacted]	125,000
			[Redacted]	124,000
			[Redacted]	45,000
	消耗品費	143,673	[Redacted]	57,330
			[Redacted]	13,560
			[Redacted]	63,783
[Redacted]			5,000	
[Redacted]			2,000	
印刷製本費	3,528	[Redacted]	2,000	
		[Redacted]	3,528	
		[Redacted]		
保険料	2,955	[Redacted]	2,955	
使用料及び賃借料	254,900	[Redacted]	188,900	
		[Redacted]	20,000	
		[Redacted]	46,000	
合計	(A)	876,256		
			[補助金額 (A)×1/2]	[438千円]

注) 「積算の基礎」欄は可能な限り会議・説明会等の事業区分毎に単価や員数等を用いた計算式を記載すること。なお、実施施設数が複数の場合は、実施施設毎に作成し、費目毎の合計額を本様式に計上した総括表を

(単位：円)

事業区分	事業(集会等)の名称	事業費の内訳								計
		報償費	旅費	消耗品費	印刷製本費	通信運搬費	保険料	雑役務費	使川料及び賃借料	
ウ	子育て支援事業 [redacted] (夏)	95,000		5,000						100,000
ウ	子育て支援事業 [redacted]	30,000								30,000
ウ	子育て支援事業 [redacted]	124,000		2,000						126,000
ウ	子育て支援事業 [redacted]	45,000		2,000						47,000
	小計	294,000		9,000						303,000
	合計	471,200		143,673	3,528		2,955		254,900	876,256

平成19年度子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書 (総括表)

市町村名 湖 南 市

(単位:円)

事業区分	事業(集会等)の名称	事業費の内訳										計	
		報償費	旅費	消耗品費	印刷製本費	通信運搬費	保険料	雑役務費	使川料及び賃借料				
イ	子育て支援学級 保護者研修	30,000											30,000
ウ	子育て支援学級 保護者先進地研修								174,000				174,000
ウ	子育て支援学級 親子連続講習								14,900				14,900
エ	子育て支援研修会	25,600		57,330						2,955		20,000	105,885
ウ	子育て支援事業	89,600		13,560									103,160
エ	子育て支援事業 保護者研修	20,000											20,000
エ	子育て支援学級 保護者先進地視察												0
エ	子育て支援学級 親子連続講座	12,000		63,783	3,528							46,000	125,311
小	計	177,200		134,673	3,528				2,955			254,900	573,256